

平成 24 年度 第 5 回三重県行財政改革推進本部 概要

- 1 開催日時：平成 24 年 9 月 4 日（火）9:10～9:50
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり

議題 1：「三重県行財政改革取組」検討ワーキンググループ報告について

(1)「三重県職員人づくり基本方針」検討WG報告

【喜多人事課長】（資料 1-1 に基づき説明）

- ・ 8 月 28 日にワーキンググループから知事に報告を行った。
- ・ 職員に必要な基本姿勢は、「元気でポジティブ」「県民と共に」など、短く、わかりやすい言葉とした。
- ・ 基本的な考え方は、OJT 機能を充実し、組織全体で取り組むために、「組織全体で、より積極的に職員に働きかける『みんなで行う人づくり』に取り組む」とした。

(2)「政策を推進するための仕組み」検討WG報告

【森行財政改革推進課長】（資料 1-2 に基づき説明）

- ・ 8 月 23 日にワーキンググループから知事に報告を行った。
- ・ 見直しの方針は、各仕組み間の連携の在り方を再構築する、「協創」の考え方に基づいて県民との関係をより具現化する形に整理する、県政のマネジメントベースは今後の位置づけについて再構築する、として検討した。
- ・ 政策を推進する PDS サイクルの見直しでは、次の計画につながる仕組み、運用とするとともに予算編成との関わりを明確にする、できる限り同じ仕組みの中で完結できるようにする、などが提言された。

【藤本地域連携部長】

「人づくり」においては、意欲を高める人づくりが必要であり、特に途中で休職したり、退職してしまう職員も多くいるが、その人たちをもっと活用することはできないか。その人たちがそうならないような人づくりをしてほしい。

いい案があるわけではないが、それを「メンタルヘルス対策」の一言で片付けていいのかと思う。仕事を一人で抱え込んでしまっているのが原因ではなく、もっと違うところに原因があるのではないか。

【喜多人事課長】

ワーキンググループの中でもその議論は出ていたので、検討していきたい。

【植田副知事】

今後、どのようなスケジュールで検討を進めていくのか。

【森行財政改革推進課長】

「三重県職員人づくり基本方針」は人事課と職員研修センター、「政策を推進するための仕組み」は行財政改革推進課が、幹事会の場などで議論させていただきながら、12月を目途に成案をまとめていく。

【石垣副知事】

ワーキンググループメンバーには報告会で会ったが、大変熱意があり、変えていこうという思いがあった。若い人たちが頑張って作ったものなので、協力してあげてほしい。

ここにいるトップの者が伝道師になって、これらの取組が職場風土として根付くように、雰囲気づくりをぜひお願いしたい。

議題2：率先実行大賞の見直しについて

【森行財政改革推進課長】（資料2に基づき説明）

- ・「優良事例の水平展開が進まない」「応募数の減少」の課題があり、今年度、目的や内容等を見直し、新たに名称を「MIE 職員カアワード」とするなど、リニューアルしたい。
- ・「協創推進部門」「職員力向上部門」など5つの部門を設ける。
- ・人材育成の機会と考え、新規採用職員は、運営もしくは審査に携わることを考えている。
- ・例年どおり、11月中旬に募集開始する予定であり、募集要領が出来次第、示したい。

【石垣副知事】

新規採用職員等が審査とあるが、今まで知事や副知事が行っていたのではなかったか。

【森行財政改革推進課長】

当日の審査は、知事、副知事に行っていただくが、事前の審査は昨年度までもアセッサーなどが行っていた。

今回は、調整はすんでいないが、インターンシップで県庁に来た学生も係わってもらえたらと考えている。

【鈴木知事】

MIE職員カアワードは、昨年度の率先実行大賞発表会を見て、思っている点が2点ある。

1点目は、発表会はプレゼン能力を競う場ではないので、もちろんプレゼン能力が高いことに越したことはないが、「中身を見てほしい」ということを審査する人によく伝えてほしい。

2点目は、今まで発表会を開催してきて、それを参考に横展開がされているのかを検証してほしい。大賞を決めて、表彰しただけでは意味が無い。横展開がされているのか、また、されていない場合はなぜされていないのか、検証してほしい。